



第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日
 講師/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長
 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長

第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
 講師/久米 えみさん ながのクラッセ会長
 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー

第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
 講師/鷲沢 幸一さん アスレながの事務局長
 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事

第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
 講師/清水 隆史さん フォトクラブアーほか
 常盤 昭二さん CMディレクター

第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
 講師/虎羽里(トラバリ)セラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト

第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOIGOの設計に参画して 平成19年4月23日
 講師/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]

第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
 講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督

第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
 講師/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト

第9回 トウガランの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
 講師/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授

第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日
 講師/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授

第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
 講師/浜 このみさん クッキング・コーディネーター

第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日
 講師/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長

第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日
 講師/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)

第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
 講師/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長

第15回 長野バルセイローー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
 講師/バドゥ・ビエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン

第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
 講師/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事

第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
 講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士

第18回 循環備蓄型の農業の実践ー宇宙のリスムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日
 講師/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役

第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
 講師/小出 陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー

第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
 講師/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋

第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
 講師/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よこらっしょ/代表理事

第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
 講師/薩川 了洋さん AC長野バルセイロ新監督

第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日
 講師/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役

第24回 3度目でつんだオリンピック出場 平成22年7月28日
 講師/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務

第25回 逃げないスケルトン ~夢と感動と勇気を~ 平成22年9月15日
 講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属

第26回 Go to J ~Jを長野に---いよいよ地域決勝大会!~ 平成22年10月25日
 講師/鈴木 政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長

第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
 講師/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ

第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
 講師/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表

第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
 講師/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)

第30回 江戸のエコロジストー茶ー 平成23年8月30日
 講師/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者

第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
 講師/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員

第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
 講師/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役

第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
 講師/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営

第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
 講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭

第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
 講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務

第36回 すべてが一丸となって ながのの宝ものをJへ 平成24年4月24日
 講師/薩川 了洋さん AC長野バルセイロ監督

第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日
 講師/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会長

第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日
 講師/塩澤 研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

第39回 善光寺参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日
 講師/俣田 達男さん NTT東日本 長野支店長

第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日
 講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役

第41回 自然との共生 平成25年2月28日
 講師/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家

第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日
 講師/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長

第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日
 講師/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長

第44回 信州の分水嶺 ~山と川と里~ 平成25年8月22日
 講師/栗田 貞多男さん 写真家

第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日
 講師/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長

第46回 地域におけるバイオマス利活用について 平成26年1月29日
 講師/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授

第47回 AC長野バルセイロー一私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日
 講師/美濃部 直彦さん AC長野バルセイロ監督

第48回 わたしにとつてのボランティア 平成26年4月16日
 講師/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長

第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日
 講師/浅野 邦子さん 株式会社 箔一 代表取締役会長

第50回 取材を通してみた長野の魅力 ~長野をもっと元気に!~ 平成26年10月8日
 講師/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

第51回 チームマネジメント 平成27年1月19日
 講師/本田 美登里さん AC長野バルセイロ・レディース監督

第52回 本物のおもてなし ~加賀屋の経営理念とビジョン~ 平成27年3月17日
 講師/小田 興之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長

第53回 地域の元気をつくる「成長企業」は、ここが違う!~地方の中規模企業が成功するための法則とは?~ 平成27年7月1日
 講師/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長

第54回 長野から宇宙へ! ~ローカル企業のチャレンジ~ 平成27年8月25日
 講師/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役

第55回 食を通じて発見 知られざる長野の魅力! 平成27年10月8日
 講師/中島 麻希さん 1級フードアナリスト

第56回 摩訶不思議!長野の神社の靈感の世界 平成27年11月17日
 講師/齋藤 安彦さん 宮司

第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ~撮影を通して見た信州の魅力~ 平成28年4月2日
 講師/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー

第58回 真田丸の時代を語る ~時代考証の舞台裏 平成28年7月2日
 講師/平山 優さん 歴史研究者

第59回 寺町商家の運営で気づいた「食」の力 平成28年8月30日
 講師/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー

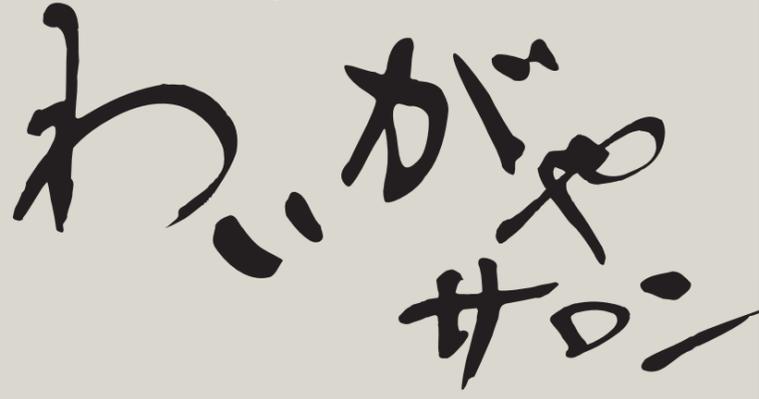
第60回 地域から社会を変えよう! 行動する人の集まる港CREEKS 平成28年11月11日
 講師/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表

第61回 長野バルセイロー一今シーズンの目指すチームづくり 平成29年3月13日
 講師/浅野 哲也さん AC長野バルセイロ監督



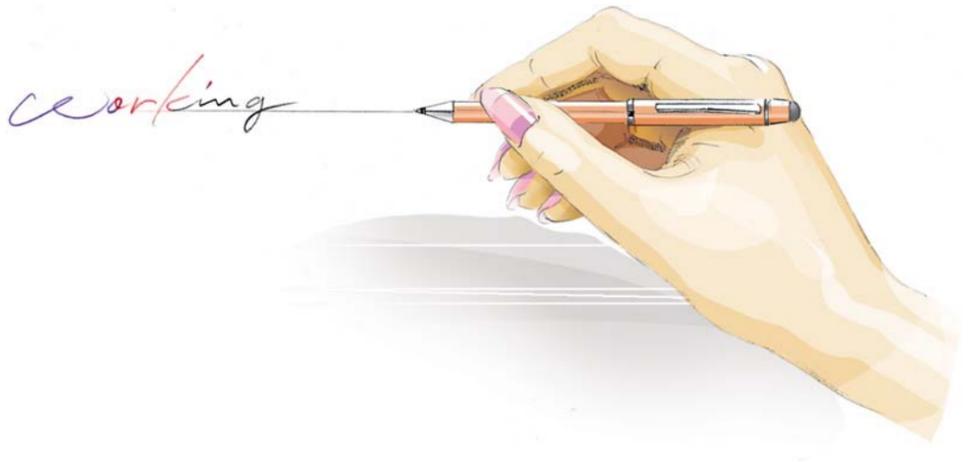
NPO法人 長野都市経営研究所

〒380-0834長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
 TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
 www.nupri.or.jp e-mail:nupri@nupri.or.jp



通信

Vol. 62
 2017.6



NPO法人 長野都市経営研究所

第62回

輝く女性の活躍で長野県の企業を更に魅力的に!

平成29年5月30日(火) 18:00~20:15

講師 / 中島 恵理さん

長野県副知事

■座長: 岩野 彰 場所 / NUPRI事務所

緑滴る5月末のわいがやサロンは、一昨年4月の長野県副知事就任以来、子育て支援、ワークライフバランス(仕事と生活の両立)の推進等さまざまな重点政策を担任されている中島恵理さんから掲題のお話をうかがいました。

今日は長野市で都市経営研究をされている方々とごっくばらんにお話しできる場をいただきありがとうございます。

自己紹介させていただきますと、東京で環境行政に携わるなか、もっと「人、らしい暮らしをしたい」と思っていた15年前、有機農業をしようとしている男性と知り合い、結婚。既婚女性が仕事を続けるためには、いかに男性と家事・育児等分担出来るかが重要なわけですが、私の場合はとても恵まれており、夫が子育てと野菜育てを担当。私は平日は子どもを夫に預けて東京、今は長野で仕事に専念し、週末は富士見町に帰って家族とともに暮らす。そうした生活を続けられるのも夫や家族が理解してくれているからだ感謝しています。

データが語りかけるもの

いろいろなデータをお見せしますので、皆さんとともに考えていきたいと思います。まず人口分布のデータ(国立社会保障・人口問題研究所)を見ていただくと、都市部に若い女性が増えていて、地方では減少しています。地方に留まりにくさがあるということは正直、私も農家の嫁として東京から地方に来た当初に少し窮屈さを感じました。では、留まらせるにはどうしたらいいか。ジェンダー指数が高いほど県民所得が高くなる、というデータもあります。すなわち男女の不平等が少なければ、若い女性も地方に留まるはず。

女性活躍の障害として、男性の家事・育児への参画が進まないということがあります。「今こそウーマノミクス」という副題が付いた全国知事会資料(H28.7)によると、女性の家事・育児の負担が大きい/共働き世帯でも、女性は男性の約6倍、家事・育児に従事している/妻が正社員の男性で育児休業を取得したのは1割以下。妻が非正規社員や無業の場合はもっと低く、「利用希望だが利用できていない」は3割程度いる等々、現実が見えてきます。しかし「女性管理職比率と利益率との関係」グラフによれば、女性が活躍している企業ほど業績が高く、女性活躍と事業業績が連動していることが見てとれます。



なかじま 恵理 1972年、京都府生まれ。95年環境庁入庁。環境省・経済産業省(資源エネルギー庁)にて環境行政に携わるなか、官庁職員の留学研修制度を利用してイギリス留学、長野県出身(温暖化対策課長、2011~13年)。上智大学大学院地球環境学科研究科准教授(環境庁派遣)を経て15年4月、長野県に現職として再び出向。富士見町(自宅)と長野市(仕事の場)とを金湯月来。

長野は女性管理職比率ワースト県

2015年の「女性活躍推進法」公布後、県では「長野県女性職員活躍推進計画」を作成しました。女性管理職の比率統計によれば、長野県は女

性管理職が非常に少なく、地方公務員(課長級以上)では全国最下位(昨年:下から2番目)、民間企業を含めても下から6番目です。これまで女性を庶務的部署に配置させることが多く、企画部署にあまり配置させなかった、管理職としての職責を担える職員を育成してこなかったことにも原因があります。県の計画策定にあたっては各部署職員によるワークショップを催し、すべての職員(男性・女性)が個性や能力を発揮できる職場づくりや仕事と家庭との両立を図るための取り組みを始めています。

民間については、県と経営者協会等さまざまな団体が連携し、昨年度「女性活躍推進会議」(座長:中島副知事)をスタートさせ、女性活躍推進会議応援事業の認定の仕組みづくりや企業アンケートを行っています。今年度は若手の女性のエンパワーメントを目的としたウイメンズカレッジの開催を予定。異業種の方々のネットワークづくりの場、でもあるので、皆さんの企業からもぜひ参加者を送ってください。

イクボス・温かボス(あったかボス)宣言

出産に合わせて、半数に近い女性が退職しています(厚生労働省2012年)。仕事を続けたかったがやむを得ずやめた理由は、「解雇された、退職勧告された」「育児との両立の難しさでやめた」等々。しかし、雇う側の対応で離職をカバーできる場合が多いのです。県では子育て支援に積極的な企業を増やそうと、多様な勤務制度導入の働きかけをし(2013~)、「職場いきいきアドバンスカンパニー」(短時間正社員やテレワークなどの働きやすい制度を導入している企業を県が認証する制度/2015~)、「テレワーカーの育成」(企業に対するテレワーク活用支援)などを行ってきました。

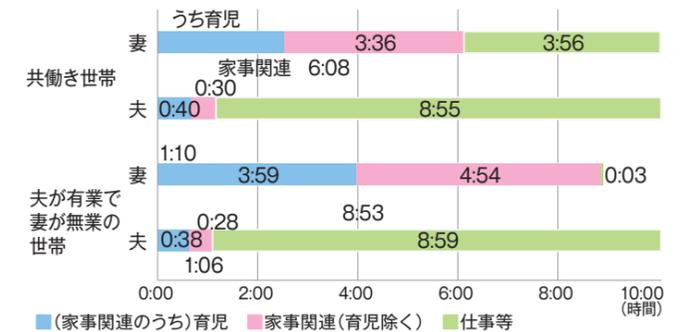
ところで皆さんは「イクボス・あったかボス」という言葉を聞いたことがありますか。「イクボス」とは、従業員や部下の育児参加に理解のある経営者や上司のことを指す造語。「温かボス」は介護する部下にも理解あるボス、新たな形の「ケアの社会化」をめざす長野県独自(県連合婦人会発案)の概念です。2つのボス創出に県も協力し、「長野県イクボス・温かボス創出プロジェクト」を立ち上げました。長野県商工会議所連合会をはじめとする経済4団体に呼びかけ人になっていただき県内企業等の管理職に「イクボス・温かボス宣言」していただくようお願いしています。

イクボスを全国に広めている安藤哲也さん(NPO法人ファザーリング・ジャパン設立者)のお話では、イクボス宣言をした職場は時間に制約のある社員がいることで情報共有が進み、チームの生産性が向上するそうです。私自身、金曜は富士見に帰りたいので、時間マネジメント・仕事の段取りを効率的に行うようになりました。私も職場のいいムードメーカーになればいいなと思い、宣言しました。上司が宣言したことで女性社員が妊娠後も働き続けることができたという事例も聞いています。

女性の活躍を推進し、長野県の企業を更に輝かせませんか。

「イクボス・温かボス宣言」は個人・企業どちらでも可能ですが、ぜひ企業として宣言してほしいとのこと。NUPRI会員企業の皆さん、ワークライフバランスの取り組みは進んでいますか?

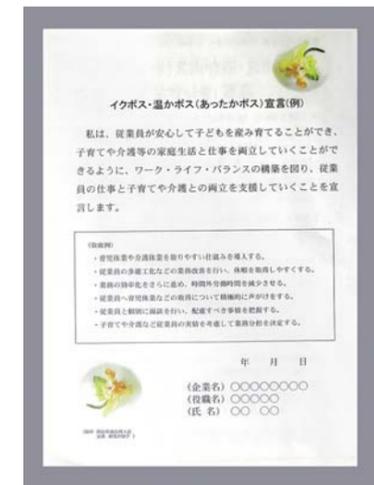
6歳未満の子どもをもつ妻・夫の家事関連(うち育児)時間、仕事等時間



※出典:仕事と生活の調和連携推進・評価部会/仕事と生活の調和レポート2013 全国知事会HP(H28.7)より



女性の感性を重視する変革も企業に求められている(長野県作成パンフレット「Human resources」)



「イクボス・温かボス(あったかボス)宣言」をしませんか
詳細は長野県連合婦人会HP
(http://www17.plala.or.jp/fujinkai)

